

進路だより

第4号 (9月9日)

日本大学櫻丘高等学校 進路指導部



令和5年7月 進学相談会の様子 (本校生徒ホールにて)

はじめに

●2学期のスタートにあたって

暑かった夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。休み中も、進路相談室からは、多くの3年生が自習室や図書室で勉強に挑む姿が見え、その必死に頑張る姿に心を打たれました。3年生の皆さんの努力が大きく実を結ぶ、そんな2学期になると信じています。

1・2年生にとって2学期は、校外教育や修学旅行、体育大会や芸術鑑賞会など、行事が目白押しです。また、部活動などで3年生から代を引き継ぎ、主力として重責を担う立場になるでしょう。そんな忙しく、充実した日々を過ごしつつ、同時に進路探究や学習でも着実に努力を積み重ねることを求められるのが高校生の2学期です。

進路や学習については、すぐ成果が出ないこともあり、投げ出したくなる時もあるでしょう。そういう意味ではこの時期、多くの人が「両立」の難しさを経験するかもしれません。しかし、ここで根気強く積み重ねた成果は、必ず後に生きてきます。さらにこうした経験は、「物事にあたるバランス感覚」や「メリハリをつけて臨む姿勢」など、社会を生きるうえで大切な資質を育ててくれるはずですよ。

成功体験も失敗経験も、すべて自分の大切な財産になります。成長を感じられる2学期にしていましょ。

今回の内容

- 1 【全学年】
2学期のスタートにあたって
- 2 【1・2年生】
文理選択・科目選択について
- 3 【3年生】
いよいよ基礎学、最終回
- 4 【3年生】
共通テストの出願について

【2学期前半の主な進路行事予定】

- 9/ 2 (土) 3年進路説明会
 - 9/ 4 (月) 1・2年スタディサポート
3年プレテスト/駿ベネ共通模試
 - 9/24 (日) 文理学部体験授業
 - 9/28 (木) 3年基礎学力到達度テスト
 - 9/29 (金) 上記自己採点
 - 10/ 5 (木) 3年基礎学結果発表
 - 10/ 6~8 3年面談日
 - 10/ 7~12 1・2年生第3回定期考査
 - 10/13 (金) 3年第1回レクチャー結果発表
 - 10/16 (月) 3年駿台・ベネッセ記述模試
 - 10/18 (水) 午前 1年出張講義
 - 11/ 2 (木) 1・2年Sクラス進研模試
(Gクラスは11/5に希望者のみ)
- ※1年生Gクラスの生徒で、Sクラスへの
移籍を希望する生徒は受験が必須です。
- 11/ 2 (木) 3年Sクラス駿ベネ共通模試
 - 11/ 4 (土) 1年情報科学系特別講義



1年生文理選択， 2年生科目選択について

●進路選択の分かれ道「文理選択」「科目選択」

大学進学を目指すときに会う分かれ道として，1年冬の「文理選択」と，2年冬の「科目選択」があります。各学年のこの時期に選択の作業を行う理由は，進路目標に対し効率的な学習にシフトするためです。しかし「現時点では進路についてまだイメージを持っていない」という人も多いでしょう。以下に，選択のアプローチについていくつか紹介します。

①将来めざす「仕事」や「資格」から決める

職業によって，文系または理系の専門的な知識が生かされるケースがあります。例えば，医師には「生物」や「化学」の知識が不可欠であり，理系に進む必要があります。また弁護士，裁判官など法律を扱う職業では文系を選ぶのが一般的です。どちらからも就ける職業もありますが，この機に様々な職業や，必要な知識・資格について詳しく調べてみると良いでしょう。

②得意科目や興味のある「学問」から決める

「得意」＝点数がとれる科目ではなく，その学問の本当の面白さを感じられるかどうか大切です。大学では一つの学問について深く追究するため，自分が興味をもって長く学び続けられるかを考えましょう。「数学が苦手だから文系」というネガティブな選択は，後々の前向きな選択の際に後悔に繋がるケースが多く，おすすめ出来ません。

③「特技や趣味」，「関心のあること」から決める

将来の目標や好きな科目が特に見つけられないという人は，自分が今まで好きだった事柄をふり返るところから始めてみる，という手もあります。例えば「小さい頃から天体や自然科学に関することが好きだったな」とか「小説や歴史など文化に関することが好きだ」という具合です。長所や適性を自己分析することも役立つでしょう。進学情報誌や「GAKUTAN」の結果などを見て，適した学問や職業の判定を参考にするのも良いでしょう。

●2年生の科目選択は「入試」に直結

2年生で選択した地歴公民や理科の科目は，3年次ではG文系は週に6回，G理系は週に7回の授業が行われ，定期考査の範囲も，2年次に比べ倍増します。さらに，その科目がそのまま入試で受験科目となります。好きな科目なら授業で興味を深めつつ，入試でも得点源になるでしょうが，逆に選択にミスマッチが生じると，受験そのものの算段が立たず，身動きがとれなくなってしまう，というケースもあります。

文理選択や科目選択は，将来の展望に繋がる大切な瞬間です。もちろん，まだ「何も決まっていない」と悩む人も多いでしょう。しかし，「何となく」「友だちと一緒に」など安易な理由に自分の決定を委ねるのは避けたいものです。できるだけ早くから調べたり相談したりして情報収集に努め，そのうえで今の自分の世界のなかで，自分にとってベストな選択ができるよう考えることが大切です。

【選択科目と入試の関係】

●日本大学基礎学力到達度テストの場合（9月）

【文系】英・国・数 +

「世界史」「日本史」「地理」「倫理・政経」から1科目選択

【理系】英・国・数 +

「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目選択

※現3年生の受験に限る

※現1,2年生はカリキュラム改訂により，試験科目の名称が変更します

●国公立大学入試の場合

【文系】英・国・数（・情報）+

「地歴公民から2科目」

「理科から1科目」が一般的

【理系】英・国・数（・情報）+

「地歴公民から1科目」

「理科から2科目」が一般的

●私立大学入試の場合

【文系】英・国 +

数 or 「地歴公民から1科目」が一般的

【理系】英・数 +

「理科から1科目」が一般的

※上記はあくまで例であり，大学ごとに科目数・受験科目などはすべて異なるため，事前よく調べておきましょう。



卒業生に学べ！

●6/24開催の社会人講演会

今年から開催となった社会人講演会。今回は、以下の2人の卒業生に来校していただきました。

◆高橋 実さん（2013年3月卒・日本信号(株)勤務）

東海旅客鉄道の営業担当として東海道新幹線ならびにリニア中央新幹線の列車制御信号システムの案件に従事。

◆松井七海さん（2019年3月卒・港区役所勤務）

芝地区の協働推進課で町会・自治会活動への支援，地域の防災住民組織への支援や養蜂事業などを手掛ける。

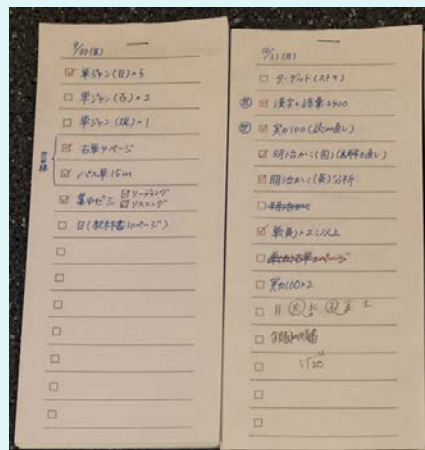
当日は多くの生徒が参加し，お2人には社会人になってから感じる高校生活の大切さや，インターンシップや就職活動などの具体的な内容まで，多岐に渡ってお話していただきました。参加者の感想の一部を右欄で紹介します。今後も社会人の話を聞く機会をつくりましますので，楽しみにしてください。

●7/8開催 大学1年生によるパネルディスカッション

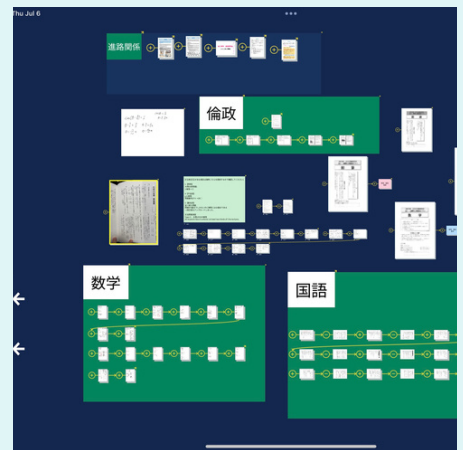
3年生を対象に開催しました。勝負の夏休みを目前に控えたタイミングで，卒業生の実験の経験に基づいた，とても有意義な話を聞くことができました。その一部を紹介します。



↑【Sクラス卒業生】
「スタディプラス」を活用した例です。7月の学習時間は，何と，「211時間」…！



↑【Gクラス卒業生】
他大一般入試に向けて頑張りました！その日ごとにやることを決めて，リスト化しています。



↑【Gクラス卒業生】
基礎学の過去問や教科別のノートを，「ロイロノート」で管理しています。使いやすそう。

【参加者の感想（抜粋）】

- 「今回のお話を聞いて大学生生活や社会人になってからが楽しみになりました。」
- 「高校での勉強への意識が高くてすごいと思いました。」
- 「仕事内容だけでなく，大学生生活のことも知ることができたのが，とても良かったと思いました。」
- 「自分がやりたいと思えることを見つけて，考えて，向き合うのが大切だということのかよくわかりました。私はそれが苦手なのでこれから頑張っていきたいと思います。」

パネルディスカッション終了後には，現3年生が卒業生に直接熱心に質問する姿が数多く見られました。夏は「受験の天王山」と言われますが，本当の勝負はまだこれからです。3年生の最後の頑張りを期待しています！

いよいよ基礎学最終回！

3年生はいよいよ最後の基礎学力到達度テストが9月28日（木），目前に迫りました。多くの3年生にとって緊張する試験となるでしょう。当日に対する不安を少しでも軽減するために，試験日の様子を事前にシミュレーションしておきましょう。

●復習で「解ける」手応えを

この時期は，過去に解いた問題の解法確認などを重点的におこないましょ。試験前にあまりに未知のものに触れると，焦りや不安が生まれるからです。過去に間違えた問題を解き直すなど，ミス回避策を定着させることを優先させましょ。試験の直前は「確実に解ける」という手応えを積み重ねて安心に繋げることが大切です。

●特別なことはしない

いつも通りに生活して，使い慣れた文房具を使い，いつもの食事を摂る。この時期，新しいことはしないほうが良いでしょう。慣れない状況は，不慮の出来事が起きると不安につながりやすいからです。

●本番に向けたシミュレーションを

試験当日に，あれこれ迷ってしまわないように，事前にルールを決めておこう。例えば，解答する順番，解けない問題への対処，休み時間に見る参考書や復習範囲，昼休みの使い方など。ある程度決めておけば，無駄な思考をせずに，動揺も抑えることができるはずだ。

●生活リズムを整える

早寝・早起きが基本です。毎日決まった時間に起床し，就寝して生活のリズムを整えよう。生活の安定が体調の維持にもつながり，精神的にも安定できるはずだ。さらに学習と休憩の開始・終了時間もなるべく固定して，それを習慣化できると良いでしょう。

●緊張する自分と向き合い，受け入れる

大切な試験であれば，緊張するのは当たり前です。隣で平気な顔に見える人でも，実は内心ドキドキしていると思います。「上手くいかいかないか，勝負の時間…」そう思えるところまで今まで頑張ってきたからこそ，緊張するのです。試験の日を迎えるまでに支えてくれた人たちに感謝して，今できることを一つ一つ，落ち着いてこなしていましょ。



一般選抜に向けて

●大学入学共通テストの概要

「大学入学共通テスト」は，ほとんどの国公立大学の一般選抜において1次試験として利用されます。また，私立大学でも多くの大学の一般選抜において，共通テストを利用する入試があります。

※共通テストの成績だけで合否判定をおこなう「共通テスト利用入試」のほか，立教大学のように大学独自の英語の試験を廃止し，共通テストの英語の成績（または英語資格）を利用するような大学もあります。

※受験科目や配点，共通テストの利用方式は大学ごとに異なります。必ず自分で調べておましょ。

【共通テストは高校から一括出願】

現役生の場合，共通テストの出願はすべて在籍高校からの一括申込となります。（※個人・あるいは塾からの申込みはできないので注意してください。）説明会への出席や書類の提出等については，担任の先生あるいは進路指導部からの連絡を良く聞き，必ず期日を厳守するようにしてください。

●赤本続々入荷中！

2024年度版の赤本が続々と入荷しています。今後入荷予定のものもあり，最終的には主要大学の赤本がほぼ揃う予定です。もし探している大学の赤本がなければ，司書の方に相談，リクエストしてください。赤本の貸し出し期間は1週間（その他書籍は2週間）です。